

モデル事業の実施概要

概要

品確法の改正に伴い地域の実情に応じた多様な入札契約方式の活用が可能となりました。また、地域のインフラの効果的な維持管理や発注者のマンパワー不足の補完も必要となっています。このため、本モデル事業では、新たな入札契約方式の導入にあたって発注者にノウハウが不足している具体的な案件を広く募集し、選定したモデル事業について、専門家や実務者を派遣するなど、発注に係る入札説明書・仕様書等の作成、入札参加者の評価等の発注支援を行います。

対象となる 地方公共団体

モデル事業の対象となる地方公共団体は、『都道府県』若しくは『市区町村』です。複数の地方公共団体による共同応募も可能です。

対象事業

全ての公共工事 ※国土交通省所管事業である必要はありません。

ただし、国土交通省が行う支援者との契約期間は平成26年10月中旬頃～平成27年3月です。必ずしも平成26年度に発注する工事等でなくても結構ですが、支援者による支援期間は、この契約期間内となります。

《対象とする入札契約方式》

①CM方式、②設計・施工一括発注方式、③ECI方式、④地域における社会資本の維持管理に資する方式、⑤段階的選抜方式、⑥技術提案交渉方式 など

※複数方式の組合せや先進性が認められるこれ以外の方式でも可能です

応募期間

平成26年6月20日(金)～7月25日(金)まで

モデル事業の実施概要

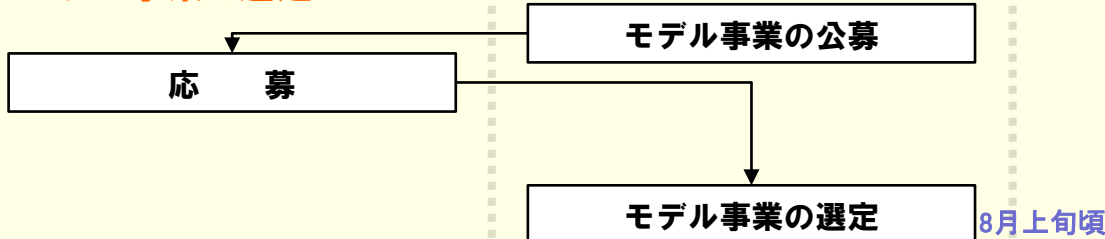
工事受注者等

モデル事業のスキーム

- ◆ 新たな入札契約方式等の導入を目指す**地方公共団体**から、**提案募集**
- ◆ 応募の中から、優れた提案を**5件(予定)**選定
- ◆ モデル事業を実施する地方公共団体に対して、**国交省**が**専門家の派遣**等で支援
- ◆ モデル事業の成果を反映した**発注者向けマニュアル**を**国交省**が作成

地方公共団体

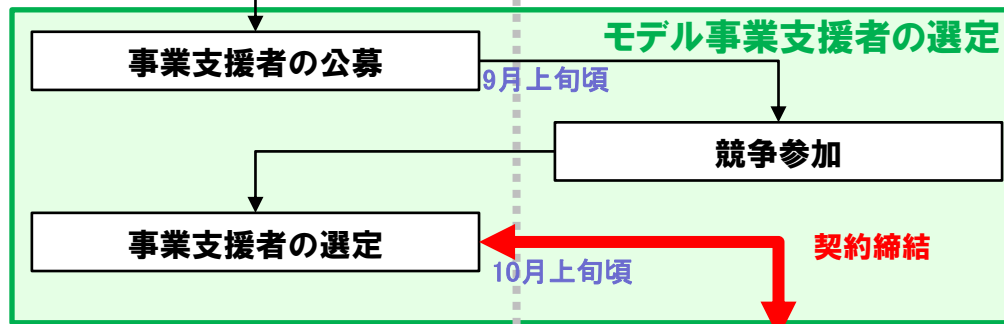
モデル事業の選定



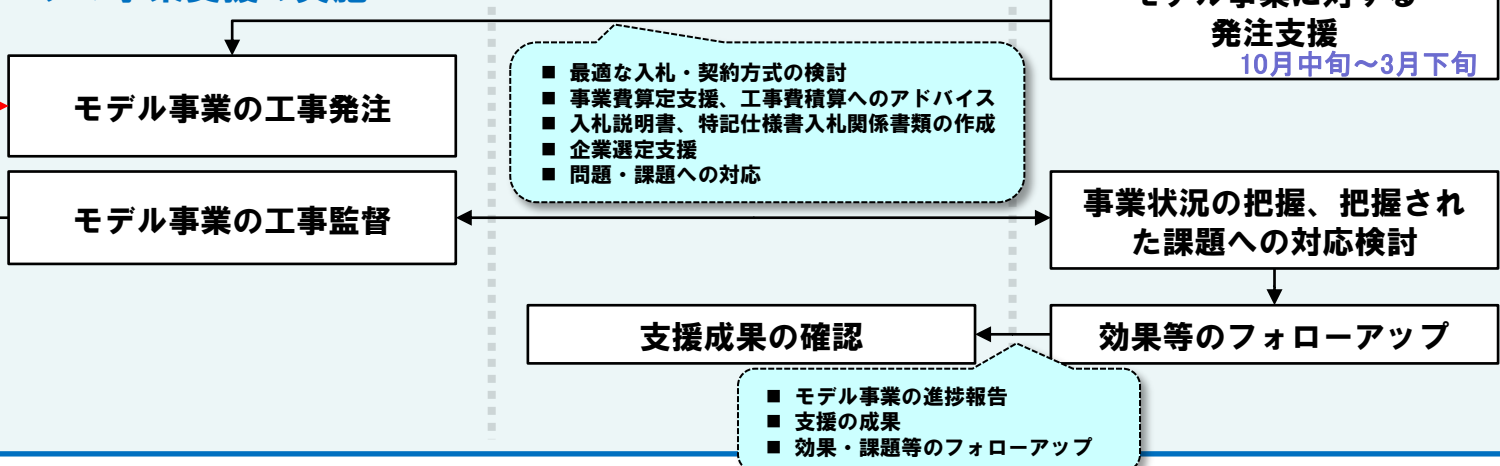
国土交通省

事業支援者

モデル事業支援者の選定



モデル事業支援の実施



契約締結

契約締結

モデル事業に対する
発注支援
10月中旬～3月下旬

事業状況の把握、把握され
た課題への対応検討

効果等のフォローアップ

支援成果の確認

モデル事業の工事発注

モデル事業の工事監督

モデル事業の工事の施工等

モデル事業の公募

応募

モデル事業の選定

8月上旬頃

事業支援者の公募

9月上旬頃

競争参加

事業支援者の選定

10月上旬頃

モデル事業に対する
発注支援
10月中旬～3月下旬

事業状況の把握、把握され
た課題への対応検討

効果等のフォローアップ

支援成果の確認

モデル事業の工事発注

モデル事業の工事監督

モデル事業の工事の施工等

モデル事業の公募

応募

モデル事業の選定

8月上旬頃

事業支援者の公募

9月上旬頃

競争参加

事業支援者の選定

10月上旬頃

対象とする入札契約方式【①CM方式】

入札・契約方式の概要

発注体制のマンパワー不足を補完するため、設計・発注・施工の各段階で**発注者が実施しているマネジメント業務の全部又は一部を、CMR（コンストラクション・マネージャー）に行わせる**方式

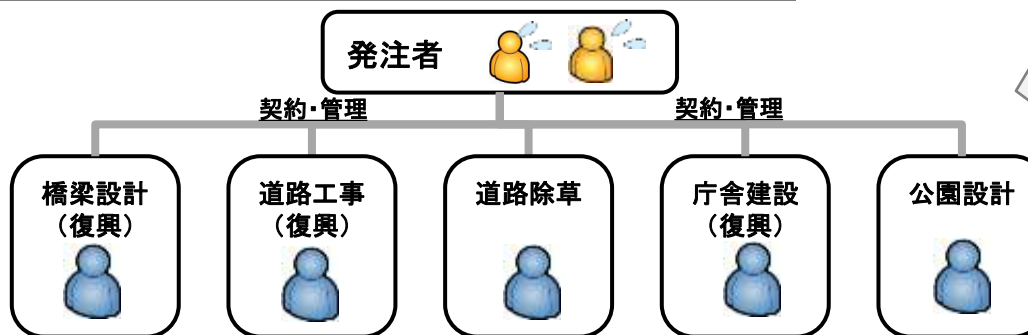
■適した事業やケース

- ・復興による事業費の急増等により発注者側の技術者が不足し、円滑な事業が実施できない事業
- ・これまで経験のない事業であり、発注者側に事業マネジメントのノウハウが不足している事業
- ・道路、河川、建築、公園等、事業分野には捕らわれない。

■期待される効果

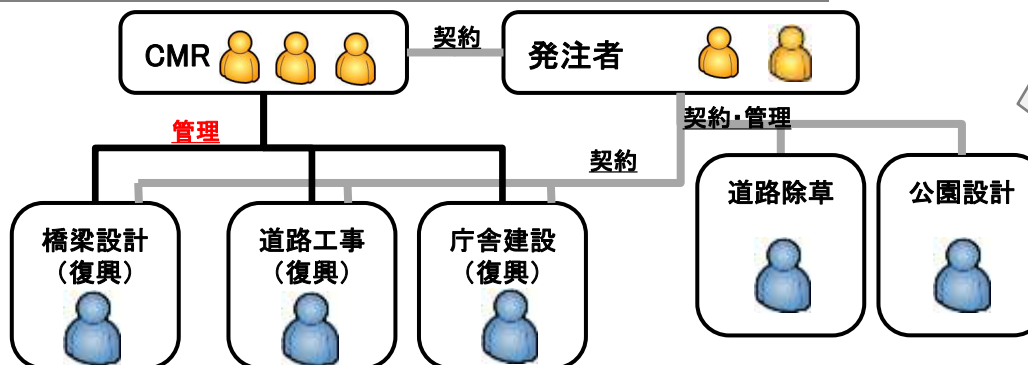
- ①発注者の負担軽減
- ②発注者側の体制補完による事業の円滑な進捗及び早期の供用開始
- ③ 経験豊富な技術者配置による、最適な企業選定、設計成果や施工の品質向上

従来方式(発注者が全ての業務・工事をマネジメント)



- 短期的な発注者体制の充足は困難であり、復興等の事業量の増大に柔軟に対応できない
- これまで経験のない種類の事業では、マネジメントのノウハウが不足がち

CM方式(CMRが発注者にかわって業務・工事をマネジメント)



- 発注者にかわって、事業マネジメント(事業工程管理支援、設計・工事の発注手続き支援、設計・工事の管理・監督支援)
- 円滑な事業遂行、早期供用開始

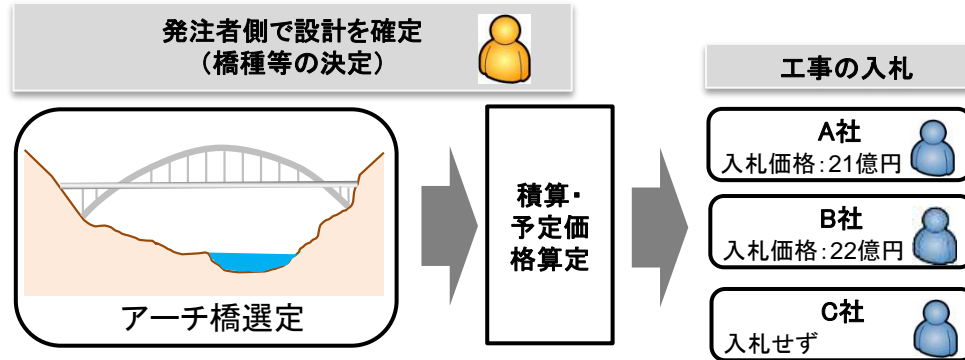
入札・契約方式の概要

設計後に設計成果に基づいて施工の発注を行う従来の分離発注に対して、**設計と施工を一緒に発注**する方式

■ 適した事業やケース

- ・橋梁や水門設備等の施工者によって得意な形式が異なる工事
- ・電線共同溝等の施工段階での変更が多い工事

従来の方式(設計施工分離発注方式)



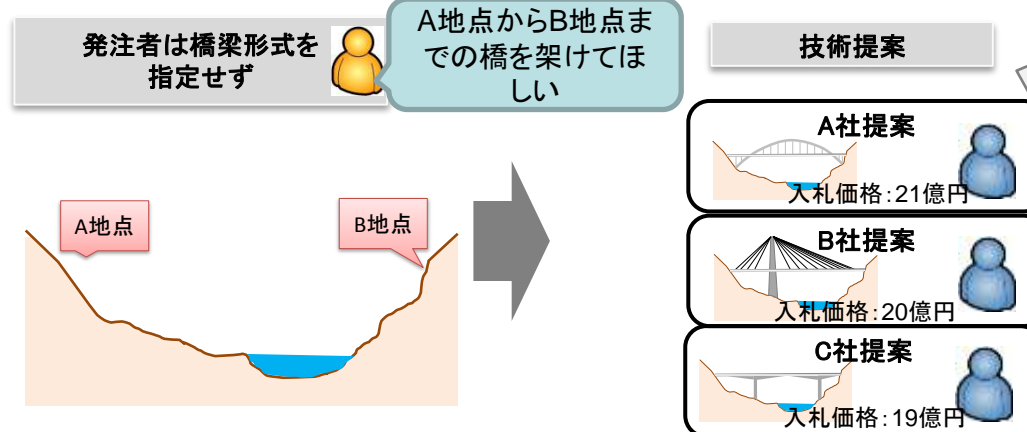
- 施工者が得意とする形式による競争ができない
- 設計→積算→工事発注のプロセスに時間がかかる

アーチの実績はないので参加できない。PC橋にすれば安くできるのに。

■ 期待される効果

- ① 最適な施工技術、技術提案の選定
- ② 設計者と施工者が同一であるため、施工段階での設計変更が円滑に行われる
- ③ 工期の短縮

設計・施工一括発注方式



- 各施工者が得意とする形式での競争が行われる
- 設計と施工を一度に選定するため、期間の短縮が期待できる
- 設計者と施工者が同一のため、責任の所在が明確になる

対象とする入札契約方式【③ECI方式】

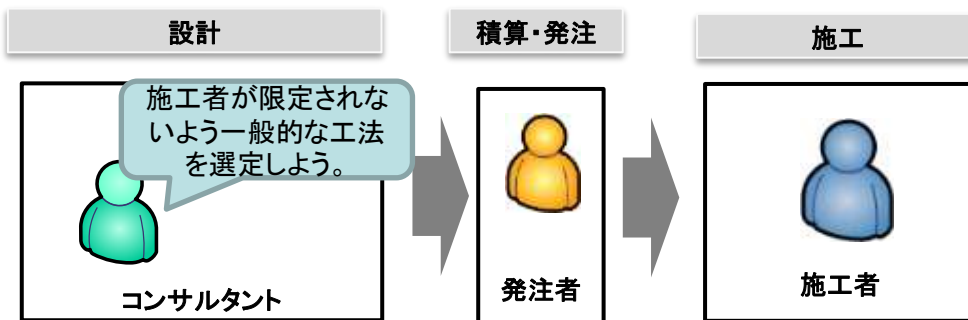
入札・契約方式の概要

計画・設計の**早期段階から施工者等が参画し、施工のノウハウを反映した設計を実施**した後に、交渉方式等で施工部分の請負契約を実施する方式

■適した事業やケース

- ・早期発注、早期完成が特に求められる事業
- ・構造物の保全工事等、発注時に詳細仕様の確定が困難な工事

従来の方式(設計施工分離発注方式)

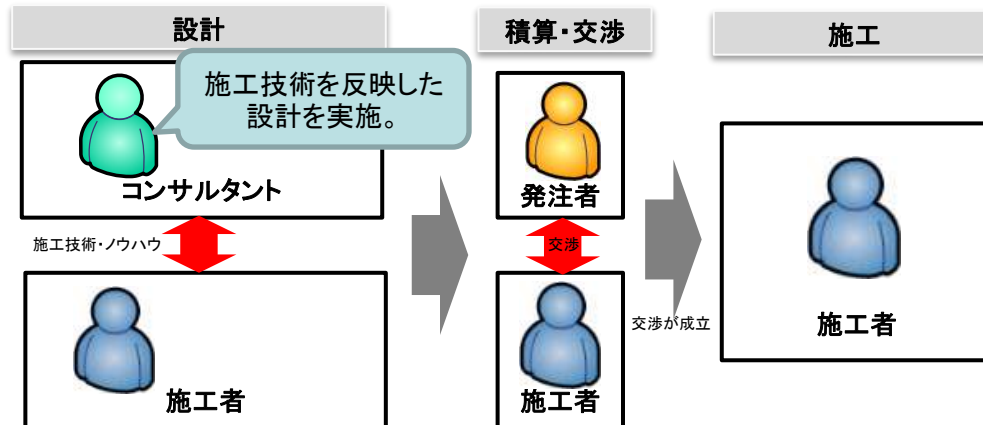


- 設計に施工者のノウハウ等が反映されない
- 設計→積算→工事発注のプロセスに時間がかかる
- 設計に施工ノウハウが反映されていないため、設計変更が多い

■期待される効果

- ① 早期の供用開始
- ② 施工中の設計変更が少なくなる

ECI方式



- 設計に施工者のノウハウを反映できる
- 設計完了・積算が終了次第、施工者との交渉ができる
- 設計に施工ノウハウが反映されるため、設計変更が少ない

入札・契約方式の概要

地域の社会資本の維持管理（修繕、巡回、災害応急対応、除雪など）について、**包括的な事業の契約単位（工種・工区・工期）**としたり、**地域企業による包括的な体制**で実施する方式

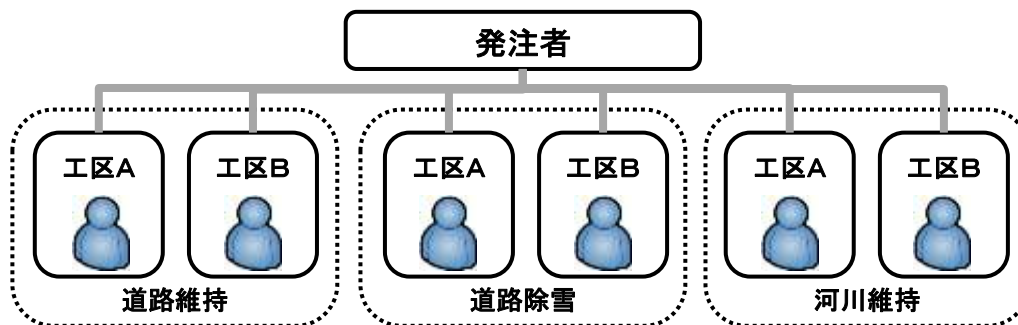
■適した事業やケース

- ・道路維持
（パトロール、清掃、除草、修繕等）
- ・河川維持
（パトロール、堤防除草、樹木伐採、内水排除、応急復旧等）
- ・道路除雪
（一般除雪・排雪、春先除雪）
- ・橋梁点検・診断・設計・修繕

■期待される効果

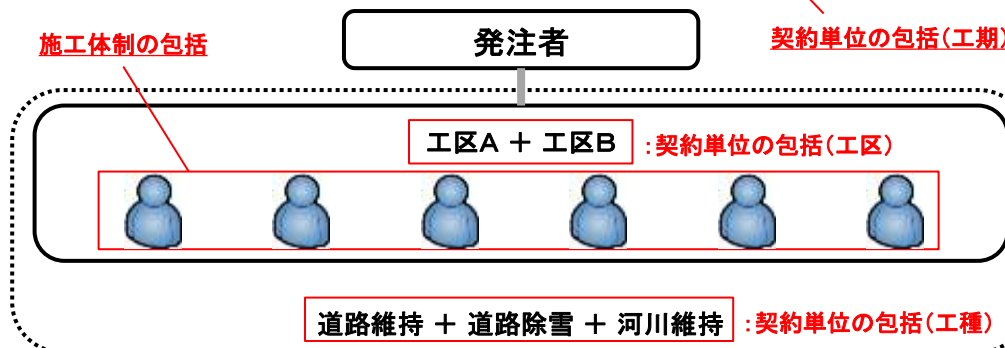
- ① ロットの大型化により、施工効率が向上
- ② 監理技術者の専任要件が緩和（地域維持型JVの場合）
- ③ 人・機械の有効活用による施工体制の安定的確保
- ④ 施工時の手戻りの減少等、効率的な橋梁補修

従来の方式（業務・工事を個別に発注）



- ロットが小さく、施工が非効率
- 契約期間が長く、監理技術者の専任が負担
- オペレータ・機械が不足している地域では地域維持の担い手の確保が困難

複数年契約・複数業務の一括発注、共同受注方式



- ロットの大型化により、施工効率が向上
- 監理技術者の専任要件が緩和（地域維持型JVの場合）
- 人・機械の有効活用による施工体制の安定的確保

対象とする入札契約方式【⑤段階的選抜方式】

入札・契約方式の概要

技術提案等の競争参加者の負担を軽減するため、工事实績や成績等で**競争参加者の一次選定**を行った後に**技術提案を提出してもらい、最終的な受注者を決定**する方式

■適した事業やケース

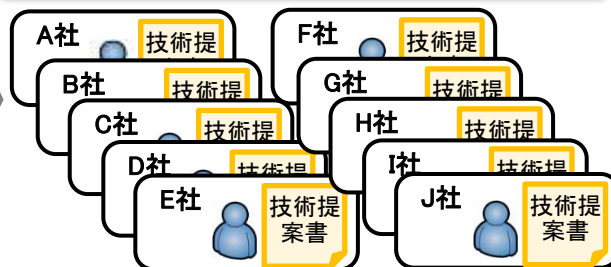
- ・技術提案の作成を必要とする入札方式を採用した事業
- ・競争参加者が多く見込まれる事業

従来の方式(技術提案と入札を同時期に実施し、一度に選定)

技術提案に基づく総合評価方式で入札公告



技術提案書の提出



- 技術提案書の作成及び審査は、発注者・競争参加者の負担が大きい

■期待される効果

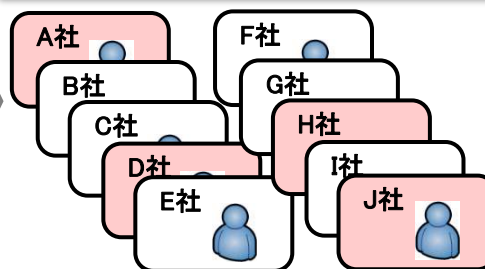
- ① 技術提案審査の負担低減
- ② 企業の技術提案負担の低減

段階的選抜方式

技術提案に基づく総合評価方式で入札公告



工事实績や成績等で一次選定



技術提案提出・受注者選定



- 技術提案書の作成者を絞ることにより審査の負担・企業の負荷を軽減

対象とする入札契約方式【⑥技術提案交渉方式】

入札・契約方式の概要

公共工事の性格等により当該工事の仕様の確定が困難である場合において、**公募した技術提案の審査結果を踏まえて選定した者と工法、価格等の交渉を行う**ことにより仕様を確定した上で契約する方式

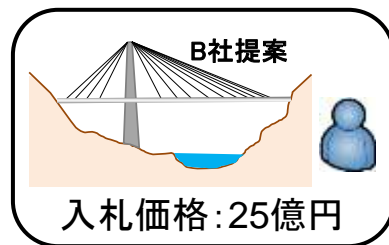
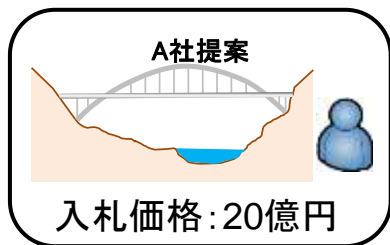
■適した事業やケース

- ・設計に施工技術を反映させたい（施工者によって得意な工法や形状が異なり、標準的な設計が困難）
- ・設計・施工一括、ECIで発注したいが、企業によって提案内容や必要事業費が全く異なり、予定価格を算定できない

従来の方式（総合評価や価格競争では技術提案最優先の選定が困難）



景観との調和を考えるとシンプルなC社案が良い



- 価格競争や総合評価によって、最も優れた技術提案の会社と契約できない

総合評価・価格競争でA社落札

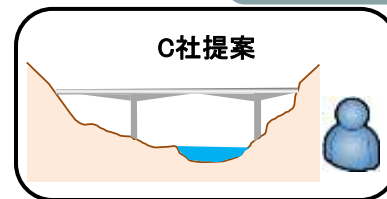
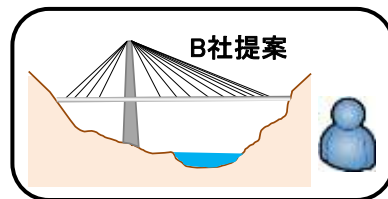
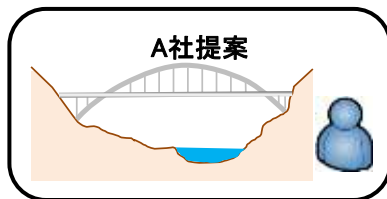
■期待される効果

- ① 最適な施工技術、技術提案の選定
- ② 実際に必要とされる価格での契約

交渉方式（技術提案の選定後、交渉によって受注者決定）



景観との調和を考えるとシンプルなC社案が良い



- 最も優れた技術提案者と優先的に交渉できる

価格等の交渉



交渉がまとまれば、契約